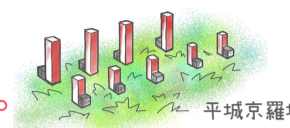


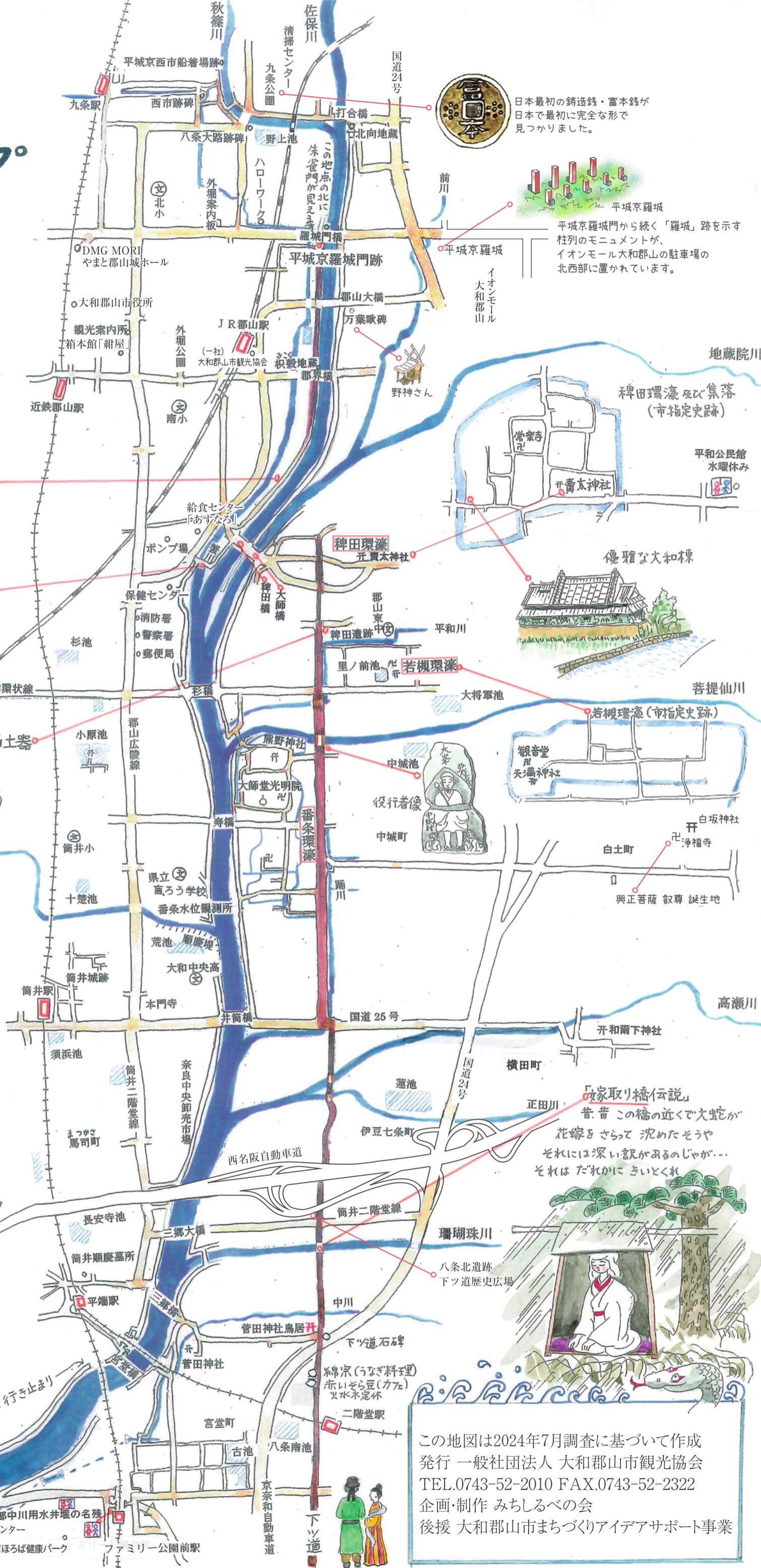
# 大和郡山市内 佐保川と 下ツ道 マップ



日本最初の鑄造銭・富本銭が日本で最初に完全な形で見つかりました。



平城京羅城門から続く「羅城」跡を示す柱列のモニュメントが、イオンモール大和郡山の駐車場の北西部に置かれています。

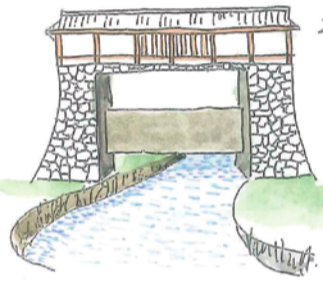


えのき  
榎と六地藏



木とお地藏さんが  
長年つれそってきた  
様子かうかがえる

お城の門のように  
そびえたつ水門



発掘された墨書人面土器



耳をすませば ほら 色々な鳥の声♪  
運が良ければ  
翡翠にも出会えます!



佐保川の土手は山野草の宝庫



「家取り橋伝説」  
昔、昔 この橋の近くで大蛇が  
花嫁をさらって 沈めたそうや  
それには深い訳があるのじゃが...  
それは だれかに さいとくれ



この地図は2024年7月調査に基づいて作成  
発行 一般社団法人 大和郡山市観光協会  
TEL.0743-52-2010 FAX.0743-52-2322  
企画・制作 みちるべの会  
後援 大和郡山市まちづくりアイデアサポート事業



# 大和郡山市内 佐保川と下ツ道マップ

## みどころ 佐保川・下ツ道

佐保川はもと奈良川と呼ばれていた、と『大和志』に記されている。春日原始林「鶯の滝」辺りを水源とし、断層崖の北縁から奈良盆地に流出する。菩提川・菰川・岩井川を合流し、大和郡山市内に入り秋篠川の合流点から約8.5km、市の南端額田部まで支流をあわせて大和川に合流する。

昔は、京へ入る禊の川であった。

そして、歩いてみたいのが古代の官営道路「下ツ道」跡である。奈良盆地を南北に縦走する古道である。「古道」とは、古くなった道、旧道のことでない。「古い時代に敷設された道」と定義され、中世・近世・近代まで用いられ、今でも残っている道。

1300年以上も昔に思いを馳せながら、歴史に、伝説に、健康志向に大和平野のど真ん中を歩いてみませんか。

**平城京西市跡・船着場跡\***奈良時代、この辺り官営の市場があった跡である。朱雀大路の東には東市があり、西市と半月交代で正午から日没まで開かれていた。

『万葉集』1264 西市尔 但獨出而 眼不並 買師絹之 商自許里鴨

（西の市にひとりで出かけて行って、見比べもしないで絹を買ったが大失敗だった）

この西市の近くの秋篠川に船着場があり、佐保川、大和川を利用して船で荷物を運んでいたという。

**清掃センター・九条公園\***清掃センターは排ガス高度処理設備・ダイオキシン類の分解等、高性能な焼却場である。24時間に104tの燃えるゴミを処理して、余熱は温水プールに利用されている。九条公園は、この温水プール・遊具を設置した広場・ジョギングコース・ゲートボール場などがある、平成2年（1990年）にオープンした都市型公園。ここから「和同開珎」より先にわが国で造られた日本最古の貨幣「富本銭」が出土した。

**羅城門跡\***羅城門は、平城京唯一の正門であり、昭和44～47年（1969～72年）、奈良文化財研究所の発掘調査で基壇の一部、朱雀大路西側溝、墨書人面土器、軒瓦などが出土している。羅城門から朱雀門まで4kmの朱雀大路が延びていた。当時、外国からの賓客もここで迎えたことが『続日本紀』に記されている。門の前（南側）には三つの橋があつて、現在も上三橋町・下三橋の町名がある。

**郡界橋・枳殻地蔵\***古くは添上郡と添下郡の、さかい（界）を流れる佐保川に架かる郡界橋。そのほりにあるのが「枳殻地蔵」。かつてはお堂の周りに枳殻（カラタチ）を植えていた。「枳殻」を「きこく」と読むことから出征した兵隊さんが無事「帰国」することを祈ったとか。

**中央卸売市場\***昭和52年（1977年）県営の中央卸売市場として開設。敷地面積は約15万㎡。県民の台所として130万人の胃袋を支えている。

**筒井順慶歴史公園\***近鉄平端駅の北東に、筒井順慶の墓所「順慶廟」がある。筒井順慶は、戦国時代末期に大和を統治し、織田信長の命により郡山城を築城したが、36歳の若さで没した。「五輪塔覆堂」は昭和19年（1944年）、重要文化財（建造物）に指定された。覆堂の中には、順慶入滅の刻銘のある五輪塔1基と石灯籠がある。

**鎌倉墓\***忍性菩薩の五輪塔（発掘調査で銘文の刻まれた骨臓器が出土）はじめ、鎌倉時代の五輪塔群があり、鎌倉墓といわれ重要文化財（建造物）に指定されている。

**額安寺瓦窯跡\***鎌倉時代、叡尊・忍性師弟が再興した額安寺の瓦を焼いたといわれる瓦窯跡。3基発見されたが、そのうち西側の1基が覆屋をかけて保存されている。国史跡に指定されている。

**額安寺\***聖徳太子ゆかりの額安寺。奈良時代の僧、道慈律師がこの寺を建立。近年、インドのネール初代首相から贈られた仏舎利を、聖徳太子のご縁で安置したといわれる舎利殿が建立された。境内には、県下で2番目に古いとされる宝篋印塔が平成21年（2009年）に移築された。

**板屋ヶ瀬\***昔は板屋ヶ瀬浜と呼ばれる船着き場であったというのが、鉄道が開通してさびれてしまった。今では堤防近くまで工業団地が広がっている。

**奈良県浄化センター\***昭和49年（1974年）創業。佐保川と大和川の合流点。汚水処理場、浄化設備のほか、緑豊かな浄化センター公園には県内各市町村のマンホール蓋が並ぶ歩道や、ゆりの木の並木道などがある。平成26年（2014年）公園の名称を「まほろば健康パーク」、新プール棟の名称を「スイムピア奈良」とした。このほかにファミリープール、テニスコート、野球場などがある。

**野神\***佐保川左岸に「下三橋の野神」の祠がある。農業の神様で、6月5日の早朝牛と共におまいりしたものだとか。

その近くにある「万葉歌碑」は、近くの住民の自治会で建立した「清掃記念碑」である。

『万葉集』1123 佐保川之 清河原尔 鳴知鳥 河津跡二 忘金都毛

（佐保川の清らかな河原で鳴いている千鳥、カジカガエルの鳴く声と二つとも忘れられないことです。）

**稗田環濠・賣太神社\***集落の周りに濠を巡らせ、原形に近い状態で現存する。東西250m、南北200m、西側濠の直線部は下ツ道の推定線上にあり、環濠集落全体が城郭機能を持つ。市指定文化財（史跡）。

賣太神社は『古事記』の伝承者である稗田阿礼を祀る。その阿礼を「童話の神様」とたたえ、毎年8月16日「阿礼祭」が行われ、祭典や、地元の子供たちによる踊りが奉納される。

“言霊の葉には秋なし神の森” 巖谷小波の句碑

境内は、昭和17年（1942年）勤労奉仕で拡張され、社殿は、昭和19年（1944年）秋の竣工。

**若槻環濠\***若槻庄は、環濠の造成過程を解明できる数少ない古い記録が残るところであり、市指定文化財（史跡）。

**番条環濠・お大師さん\***番条環濠集落は、南北に長い複雑な形の濠に囲まれた城郭機能を持つ集落である。毎年4月21日は「お大師さん」で、家々の玄関先に弘法大師像の入った厨子（厨子の扉に御詠歌）が出開帳される。

**白土町\***白土町は西大寺中興の祖であり、西大寺大茶盛の創始者とされる、興正菩薩（叡尊）の出生地。「興正菩薩誕生の地」の碑は、昭和14年（1939年）当時の薬師寺管長、橋本凝胤師の建碑。浄福寺内には叡尊の銅像が安置されている。

**横田・和爾下神社\***横田は奈良盆地の中央を東西に結ぶ竜田道に面した、弥生時代からの集落である。奈良時代から平安時代は、橋街道と龍田道が交差する交通の要所。横田の和爾下神社は古くは横田物部氏の氏神という。天理市樺本町の和爾下神社が上治道社と言われるのに対してここは下治道社と言われてきた。神護景雲3年（769）東大寺領樺庄の開発工事で池や水路を改修し、道路も造り治した（東大寺文書）。よって治道という。

**下ツ道・八条北遺跡\***郡山下ツ道ジャンクション建設に伴い、橿原考古学研究所の発掘調査が行われ、古代の官道下ツ道跡が確認された。側溝の規模から、船を利用した物資運搬の関連も注目されている。

**下ツ道歴史広場\***トイレも広い駐車場もある公園。郡山下ツ道ジャンクション建設の工事現場だったところ。広場の横の南北の道が下ツ道跡。令和4年（2022年）2月竣工。

**嫁取り橋伝説\***珊瑚珠川に架かる橋が嫁取り橋。失恋で身投げした娘の霊が大蛇になり、花嫁がこの橋を渡ろうとすると、大雨を降らせ花嫁を淵に引きずり込んだといわれ、今でも花嫁はこの橋を通らないらしい。

**菅田神社\***菅田神社の祭神は菅田比古命（菅田氏の祖）。または、古代の製鉄（鍛冶）の神・天目一箇神。菅田氏は製鉄や鍛冶に関わった氏族であった可能性がある。菅田神社は別名「一夜松天神社」「八条天神社」ともいわれていた。境内より遠く東方500mほどのところに朱塗りの鳥居がある。

**宮堂\***みやんど（う）、ともいう。室町時代からの地名。市の南端に位置するこの集落は、近くに佐保川と中川があり洪水の危険にさらされ、請堤を築いていた。治水対策は今も受け継がれている。

## 佐保川に流れ込む川

**秋篠川（あきしのがわ）**：平城京運河（西の堀川）として利用された川。延長10.6km。増田長盛が郡山城主だった時、郡山城総構え工事で、外堀50丁13間（約5.5km）を普請した。奈良口で秋篠川の流路を東に変え佐保川に落とし、もとの川跡を堀に利用した。「奈良口大橋川の川違」と呼ばれている。

**蟹川（かにがわ）**：九条町あたりを源流に、川下にカワセミを見ることのできる川。城門を模した水門がある。

**地蔵院川（じぞういんがわ）**：奈良市の帯解寺の横を流れ平和団地（下三橋町）で前川を取り込み佐保川に合流する。

**菩提仙川（ぼだいせんがわ）**：奈良市菩提山町に源流があり清酒発祥の地である正暦寺の前を流れ、番条町の北で佐保川に合流している。

**量川（はかりがわ）**：近鉄筒井駅の北を流れる小川が量川である。川下の佐保川の合流地あたりでは請堤があり、「順慶堤」と呼ばれている。

**高瀬川（たかせがわ）**：樺本町から横田町を通過して下ツ道の西側で正田川と合流し、佐保川に至る。奈良時代に水路を造り替え竜田道の改修工事を行った。

**珊瑚珠川（さんごじゅがわ）**：八条町の北部を流れる川が珊瑚珠川で、天理市豊田山丘陵に発し、平端駅の東方で佐保川の左岸に注ぐ。